

図書館だより

NO. 5

2016年9月2日

◎ スタッフの交替のお知らせ

今月から司書の岡 柚子香さんに替って、新しく高田洋平さんがスタッフに加わりました。
よろしくおねがいします！

インターネットタブレットパソコンの配備と貸出

図書館に教育用 ICT 機器が 13 台配備されました。無線 LAN に接続していますので、図書館内での情報探索（インターネット利用）が可能となりました。館内での貸出をします（利用は司書室前の 3 台の机）、利用方法を確認の上、ご活用ください。
探究やその他授業でも是非ご活用ください。
また、これらの配置の関係で図書館の配架位置が変更になっています。

◇ 7月（7.01～7.20：夏休み前まで）の学年別貸出冊数

学年	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
貸出冊数	428 冊	299 冊	240 冊	179 冊	114 冊	31 冊

総貸出冊数 1291 冊

◎ 9月の開館スケジュール

原則、毎日開館です。閉館日は日曜日、休日（振替含）（9/4、12、18、19、22、25、30）

※ 但し、授業のない土曜日（9/3）は午前中のみ開館です。

◎ 新着案内

新着図書が 128 冊入りました。教室掲示の新着図書案内、図書館入口新着図書コーナーでご確認ください。

お願い

7月に蔵書点検を行いました。ご協力ありがとうございました！
今回の蔵書点検では、新たに51冊の不明本が出ました
（これまでのものと合わせると112冊）。不明本のリストを掲示しますので、
見つけた人は、図書館までお知らせください。

☆期間入れ替わりコーナー

司書おすすめコーナー（入口左側）では、高2修学旅行コーナーとして「台湾関係」、「中学校国語の教科書で紹介されている本」の展示をしています。また、文化祭終了後「夏目漱石『こころ』関係」の展示をします。ぜひ手に取ってみてください。

◇ 第155回 芥川賞、直木賞が7月19日に発表されました。

芥川賞には村田沙耶香さんの「コンビニ人間」、直木賞には萩原浩さんの「海に見える理髪店」がそれぞれ受賞しました。簡単に紹介します。

「コンビニ人間」：36歳の未婚女性はコンビニのバイト歴が18年。現代の実存を問う小説。

「海に見える理髪店」：心揺さぶる家族の物語、六編を描いた家族小説。伝説の床屋に予約を入れた「僕」が店主と過ごす時間を描いています。（新着図書コーナーにあります）

◎ 今年から夏休み全期間、土日を除き図書館を開館しました。多くの皆さんが静かに自習したり、本を借りたりしていただきました。そこで、その利用状況をまとめてみました。

◇夏休み中（7.26～8.31）の学年別貸出冊数（7.21～7.25 は蔵書点検のため閉館）

学年	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
貸出冊数	141	185	104	225	20	19

総貸出冊数 694 冊

◇夏休み中の週別貸出冊数と来館者数

期間	7.26～29	8.1～5	8.8～12	8.15～19	8.22～26	8.29～31
貸出冊数	125	194	115	217	86	31
来館者数	222	330	190	663	324	172

総来館者数 1,901 名

☆図書館を活用しましょう 第2回

今回からは奥野宣之『図書館超活用術』（朝日新聞出版）を参考にしながら紹介します。

◆ Step3：蔵書検索システムの活用

本校には、約4万冊以上の蔵書がありますが、その内書庫にある一部を除いて蔵書登録がされています。そこで、蔵書検索システムを活用すると以下のようなことができます。

1 書名がわかっている本を探す

検索システムの検索欄に署名を入力すると、①その本が本校図書館にあるか、②あるなら貸し出し中か否か、③どこの棚に配架されているか（前回紹介した請求番号（分類番号）を確認します）が、たちどころにわかります。分類番号が示す棚に行って簡単に本を見つけることができます。ただし、**特設コーナー**に配架してある本もありますので注意してください。

2 調べたいテーマの本を探す

検索欄にキーワードを入力すると、①（本校にある）関係ありそうな本が複数表示されると思います。多すぎたり、少ない（またはない）場合は、新たなキーワードを加えて絞り込んだり、再検索します。

②、③は上記と同じです。

テーマ棚がうまく見つからない時、（このテーマには）もっといい棚があるんじゃないかと思った時は、ぜひ、この検索システムを使ってみましょう。本のタイトルではなく、キーワード検索をかけ、本そのものよりも「請求番号（分類番号）」に注目すれば、関係のありそうな棚が見つかるはずです。検索システムで当たりをつけた上で、本棚を探しに行き、その棚にある本の書名を見ているうちにまた新しいキーワードが出てきたら、また、検索システムに当たるといったことを交互に行くと自分のテーマ探求の潜在ニーズを明確化したり、課題解決にピッタリの本を見つけたりする可能性が高まります。

◆ Step4：レファレンスのプロ、司書を活用する

図書館では、調査相談や文献案内をする「レファレンスサービス」を行っています。図書館の専門家である司書にとっては、レファレンスサービスを求めてきた利用者を満足させることは腕の見せ所でもあります。レファレンスのプロである司書であれば、検索システムのキーワード検索でヒットする本だけでなく、そのジャンルの本を探すのに向いているレファレンスブックやデータベースも教えてくれることもあります。

相談は「〇〇についての資料を探している」といったはっきりしたものでなくとも大丈夫です。あいまいなことであっても、**相談の会話を通じて**「こんな本はどうでしょう？」「△△というよりは□□ですね」という具合に、求めているものを明確化していつてくれる場合もあります。探究活動や論文資料探査など力になってくれると思います。臆せず、声をかけてみましょう。